

6 社会動態

(1) 市町別社会動態

この1年間の県内の市町間移動者数は、10,480人(男5,199人、女5,281人)、他の都道府県からの転入者は17,270人、他の都道府県への転出者は18,904人で、移動総数は46,654人となっている。

転入超過となった市町は、鳥栖市(232人)、上峰町(45人)など4市町(1市3町)で、また転出超過となった市町は、唐津市(1,390人)、佐賀市(932人)、伊万里市(610人)、白石町(395人)など16市町(9市7町)となっている。

(2) 県外転入・転出者数

この1年間の県外からの転入者数は、17,270人(男9,402人、女7,868人)で、他の都道府県からの転入で最も多いのは、福岡県(6,456人)で、続いて長崎県(1,883人)、東京都(904人)、熊本県(766人)、大分県(522人)となっている。

また、県外への転出者数は、18,904人(男10,015人、女8,889人)となっており、転出先で最も多いのは、福岡県(7,712人)で、続いて長崎県(1,481人)、東京都(1,360人)、熊本県(800人)、神奈川県(589人)となっている。

この結果、社会動態では、1,634人(男613人減、女1,021人減)の転出超過(人口減少)となっている。さらに、前年と比較すると、県外からの転入者は1,778人減少し、県外への転出者は1,284人減少している。

表-11 社会動態 (⇒統計表第4・5・10表)

区 分		令和元(平成31)年		令和2年		増 減	
		人	%	人	%	人	ポイント
県外 転入	総数	19,048	23.3	17,270	21.2	△ 1,778	△ 2.1
	男	10,128	26.1	9,402	24.4	△ 726	△ 1.7
	女	8,920	20.7	7,868	18.4	△ 1,052	△ 2.3
県外 転出	総数	20,188	24.6	18,904	23.2	△ 1,284	△ 1.4
	男	10,630	27.4	10,015	26.0	△ 615	△ 1.4
	女	9,558	22.1	8,889	20.7	△ 669	△ 1.4
社会 増減	総数	△ 1,140	△ 1.4	△ 1,634	△ 2.0	△ 494	△ 0.6
	男	△ 502	△ 1.3	△ 613	△ 1.6	△ 111	△ 0.3
	女	△ 638	△ 1.5	△ 1,021	△ 2.4	△ 383	△ 0.9
県内 移動	総数	10,655	13.0	10,480	12.9	△ 175	△ 0.1
	男	5,185	13.4	5,199	13.5	14	0.1
	女	5,470	12.7	5,281	12.3	△ 189	△ 0.4
移動 総数	総数	49,891	60.9	46,654	57.3	△ 3,237	△ 3.6
	男	25,943	66.9	24,616	63.9	△ 1,327	△ 3.0
	女	23,948	55.5	22,038	51.4	△ 1,910	△ 4.1

注) 各年次とも前年10月1日から当年9月末日までの1年間の集計である。

(3) 月別県外転入・転出者の動き

県外転入、転出者数を月別にみると、最も多い月は、転入者数では、3月の3,417人、次いで4月の2,759人となっている。

転出者数では、3月の5,751人、次いで4月の1,821人となっている。

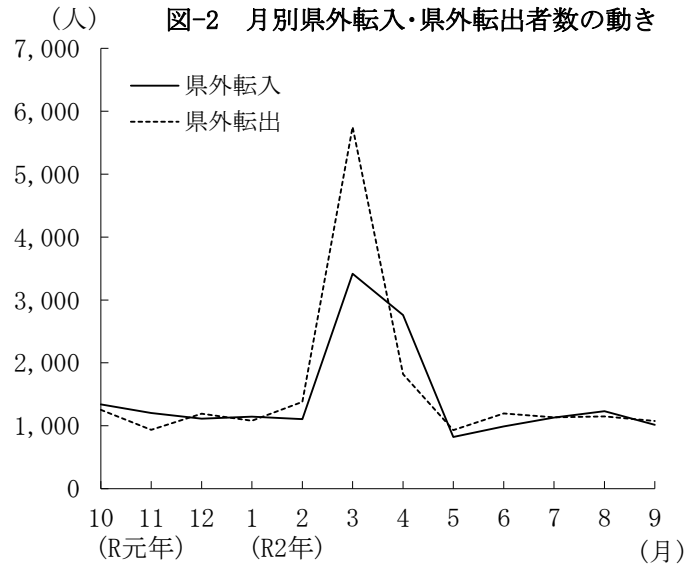


表-12 月別県外転入・転出者数 (⇒統計表第4表) (単位：人)

	合計	R元年			R2年								
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
県外転入	17,270	1,339	1,203	1,112	1,146	1,104	3,417	2,759	822	990	1,132	1,232	1,014
県外転出	18,904	1,252	937	1,193	1,082	1,382	5,751	1,821	931	1,197	1,133	1,150	1,075

(4) 市町別社会動態率

転入率・転出率・社会増減率の上位及び下位をそれぞれ5位までみると表-13のとおりである。

表-13 市町別社会動態率 (⇒統計表第5表) (単位：%)

順位	転入率						転出率						社会増減率		
	総数		県内		県外		総数		県内		県外				
上位	1	吉野ヶ里町	59.2	上峰町	28.3	鳥栖市	39.2	吉野ヶ里町	59.5	江北町	29.7	鳥栖市	36.1	みやき町	4.7
	2	上峰町	53.0	江北町	28.1	基山町	36.1	上峰町	49.6	玄海町	26.5	基山町	35.6	鳥栖市	3.4
	3	鳥栖市	50.0	吉野ヶ里町	25.2	吉野ヶ里町	34.0	玄海町	48.2	吉野ヶ里町	25.8	吉野ヶ里町	33.6	上峰町	3.3
	4	基山町	46.4	小城市	21.7	みやき町	25.4	鳥栖市	46.6	小城市	22.4	上峰町	27.4	基山町	2.2
	5	みやき町	43.0	神埼市	20.9	上峰町	24.7	江北町	45.5	上峰町	22.2	佐賀市	25.3	吉野ヶ里町	△ 0.2
下位	1	太良町	20.4	唐津市	6.8	白石町	8.7	唐津市	28.2	唐津市	6.9	大町町	12.0	玄海町	△ 14.2
	2	白石町	22.2	太良町	8.3	大町町	8.8	白石町	29.5	基山町	8.7	白石町	13.5	太良町	△ 10.2
	3	唐津市	23.1	有田町	8.6	江北町	11.8	太良町	30.7	佐賀市	9.4	江北町	15.8	有田町	△ 7.5
	4	有田町	24.5	伊万里市	9.2	太良町	12.2	大町町	31.1	鳥栖市	10.5	小城市	15.8	白石町	△ 7.4
	5	鹿島市	25.7	基山町	10.3	小城市	13.1	有田町	32.1	伊万里市	11.3	鹿島市	16.5	鹿島市	△ 7.3

(5) 年齢別移動状況

この1年間の人口移動を年齢別にみると、移動総数 46,654人 {県内移動+県外(転入出移動)}のうち、最も多い年齢階級は、20~24歳 10,096人(総数の21.64%)、続いて25~29歳 7,954人(17.05%)、30~34歳 5,508人(11.81%)、15~19歳 3,927人(8.42%)、35~39歳 3,544人(7.60%)となっている。

表-14 人口動態の推移 (平成8年~令和2年) (⇒統計表第5表)

年次	自然動態						社会動態					
	出生数	死亡数	自然増減数	出生率	死亡率	自然増減率	県外転入数	県外転出数	社会増減数	県外転入率	県外転出率	社会増減率
	人	人	人	‰	‰	‰	人	人	人	‰	‰	‰
平成 8年	8,908	7,562	1,346	10.07	8.55	1.52	22,095	22,581	△ 486	24.99	25.53	△ 0.55
9年	8,823	7,817	1,006	9.97	8.83	1.14	22,395	23,873	△ 1,478	25.30	26.97	△ 1.67
10年	8,924	7,846	1,078	10.09	8.87	1.22	21,532	23,186	△ 1,654	24.34	26.21	△ 1.87
11年	8,656	8,040	616	9.79	9.09	0.70	21,417	22,863	△ 1,446	24.22	25.86	△ 1.64
12年	8,623	7,862	761	9.76	8.90	0.86	21,134	22,546	△ 1,412	23.93	25.52	△ 1.60
13年	8,731	7,707	1,024	9.96	8.79	1.17	21,080	23,069	△ 1,989	24.05	26.31	△ 2.27
14年	8,287	7,735	552	9.46	8.83	0.63	20,344	22,700	△ 2,356	23.23	25.92	△ 2.69
15年	8,017	8,281	△ 264	9.17	9.48	△ 0.30	20,639	22,376	△ 1,737	23.62	25.61	△ 1.99
16年	7,983	8,098	△ 115	9.16	9.29	△ 0.13	20,325	22,218	△ 1,893	23.31	25.48	△ 2.17
17年	7,642	8,528	△ 886	8.79	9.80	△ 1.02	19,532	21,687	△ 2,155	22.45	24.93	△ 2.48
18年	7,530	8,525	△ 995	8.69	9.84	△ 1.15	19,554	22,381	△ 2,827	22.57	25.83	△ 3.26
19年	7,732	8,512	△ 780	8.96	9.87	△ 0.90	19,721	22,283	△ 2,562	22.86	25.83	△ 2.97
20年	7,916	9,105	△ 1,189	9.21	10.60	△ 1.38	19,583	21,923	△ 2,340	22.79	25.52	△ 2.72
21年	7,533	8,819	△ 1,286	8.80	10.31	△ 1.50	19,480	21,045	△ 1,565	22.77	24.59	△ 1.83
22年	7,606	9,096	△ 1,490	8.92	10.67	△ 1.75	17,868	19,223	△ 1,355	20.95	22.54	△ 1.59
23年	7,771	9,513	△ 1,742	9.14	11.19	△ 2.05	18,311	19,435	△ 1,124	21.55	22.87	△ 1.32
24年	7,424	9,485	△ 2,061	8.77	11.20	△ 2.43	17,628	18,984	△ 1,356	20.81	22.42	△ 1.60
25年	7,304	9,710	△ 2,406	8.66	11.51	△ 2.85	18,107	19,591	△ 1,484	21.47	23.23	△ 1.76
26年	7,289	9,699	△ 2,410	8.68	11.55	△ 2.87	17,399	19,588	△ 2,189	20.72	23.33	△ 2.61
27年	7,117	9,833	△ 2,716	8.52	11.78	△ 3.25	17,778	20,270	△ 2,492	21.29	24.27	△ 2.98
28年	6,975	9,595	△ 2,620	8.38	11.52	△ 3.15	17,511	19,335	△ 1,824	21.03	23.22	△ 2.19
29年	6,665	9,978	△ 3,313	8.05	12.05	△ 4.00	18,064	19,519	△ 1,455	21.81	23.56	△ 1.76
30年	6,653	10,114	△ 3,461	8.08	12.28	△ 4.20	18,687	19,736	△ 1,049	22.69	23.96	△ 1.27
令和 元年	6,276	10,035	△ 3,759	7.66	12.25	△ 4.59	19,048	20,188	△ 1,140	23.25	24.65	△ 1.39
2年	6,161	9,917	△ 3,756	7.57	12.18	△ 4.61	17,270	18,904	△ 1,634	21.21	23.22	△ 2.01

(注) 1. 各年次とも前年10月1日から翌年9月末日までの1年間の集計である。
 2. 各年次の1,000人対比率は、前年の10月1日現在推計人口又は国勢調査人口に対する比率である。

7 世帯

(1) 世帯数

令和2年10月1日現在の世帯数は、315,905世帯で、これを前年と比較すると2,773世帯(0.89%)の増加となっている。

世帯数の増減状況を市町別にみると、16市町(10市6町)で増加し、3町で減少、1町で増減なしとなった。

世帯増減数・世帯増減率の上位及び下位をそれぞれ5位までみると表-15のとおりである。

表-15 市町別世帯増減数(増減率) (⇒統計表第12表)

順位	世帯増減数		世帯増減率	
	上位	下位	上位	下位
1	佐賀市 890	有田町 △17	上峰町 2.48%	大町町 △0.65%
2	鳥栖市 510	大町町 △16	吉野ヶ里町 2.05%	太良町 △0.42%
3	唐津市 240	太良町 △12	鳥栖市 1.71%	有田町 △0.24%
4	武雄市 204	玄海町 0	みやき町 1.62%	玄海町 0.00%
5	小城市 172	鹿島市 6	基山町 1.57%	鹿島市 0.06%

表-16 世帯数・1世帯当たり平均人員の推移 (⇒統計表第1・12表)

年次	世帯数	1世帯当たり平均人員	対前年増減	対前年増減率
※ 大正 9	128,854	5.2	—	—
※ 14	129,728	5.3	—	—
※ 昭和 5	128,731	5.4	—	—
※ 10	126,691	5.4	—	—
※ 15	129,761	5.4	—	—
※ 22	174,652	5.3	—	—
※ 25	176,603	5.4	—	—
※ 30	181,468	5.4	—	—
※ 35	190,063	5.0	—	—
※ 40	191,425	4.6	—	—
※ 45	199,755	4.2	—	—
※ 50	213,152	3.9	—	—
※ 55	233,117	3.7	—	—
※ 60	242,619	3.6	—	—
※ 平成 2	251,225	3.5	—	—
※ 7	267,862	3.3	—	—
9	274,233	3.2	3,011	1.1
10	277,148	3.2	2,915	1.1
11	280,058	3.2	2,910	1.1
※ 12	278,306	3.1	—	—
13	280,812	3.1	2,506	0.9
14	283,100	3.1	2,288	0.8
15	285,606	3.1	2,506	0.9
16	287,692	3.0	2,086	0.7
※ 17	287,431	3.0	—	—
18	290,279	3.0	2,848	1.0
19	293,002	2.9	2,723	0.9
20	295,425	2.9	2,423	0.8
21	297,429	2.9	2,004	0.7
※ 22	295,038	2.9	—	—
23	297,524	2.8	2,486	0.8
24	299,776	2.8	2,252	0.8
25	301,958	2.8	2,182	0.7
26	303,808	2.7	1,850	0.6
※ 27	302,109	2.8	—	—
28	304,646	2.7	2,537	0.8
29	307,514	2.7	2,868	0.9
30	310,323	2.6	2,809	0.9
令和 1	313,132	2.6	2,809	0.9
2	315,905	2.6	2,773	0.9

(注) ※は、国勢調査による世帯数。
昭和10年の世帯数は、普通世帯のみ。
なお、国勢調査実施年の対前年増減(率)は、前年が推計値のため比較していない。

(2) 1世帯当たりの平均人員

令和2年10月1日現在の1世帯当たりの平均人員は2.6人となった。

1世帯当たりの平均人員を市町別にみると、19市町(10市9町)で2人台、1町で3人台となっている。

1世帯当たりの平均人員の上位をみると、白石町が3.0人、太良町、嬉野市の2市町(1市1町)が2.8人となり、また、下位をみると、佐賀市が2.4人、鳥栖市、大町町の2市町(1市1町)が2.5人となっている。